

Canada Report

第7号 2026/10/5

10月1日～2日 8日～9日目

10月1日（木）

18時から町主催の夕食会が開催されました。ホストファミリーや町議会議員さん、昨年湧別町に来た生徒とその家族、いままでに国際交流に携って来た方など約50人が集まりました。

家族ごとにテーブルにつき、食事をいただきながらいままでの滞在について色々な話をしました。その後はヒルツ町長からの挨拶があり、湧別町から来てくれたことに感謝し、「色々な体験や文化の交流を通して繋がりを持てたこと」、「多くの希望や価値観」、そして「夢を共有することが出来た」ことに、この交流事業の意義があるとお話されました。

その後は、細川副町長からのスピーチとギフトの交換、参加者からの楽しかった思い出や感謝の言葉などの発表があり、会場はとても温かい雰囲気になりました。湧別町の生徒は楽しかったことやホストファミリーへの感謝の気持ちをとても上手に英語でスピーチし、「まだ帰りたくない」、「ホストファミリーが大好きだ」と伝え、ホストファミリーも最初は受け入れるのにとても緊張し、どの様に接すればいいかわからなかったけど、途中から自分の子どもと同じように接したらいまでは日本人の子どもができましたと言ってくれました。今夜が最後の夜ということもあり、ほぼ全てのホストファミリーが泣いてしまうという、とてもエモーショナルな夕食会になりました。

少し寂しい気持ちになりましたが、最後はホストファミリーへの感謝の気持ちを込めて、太鼓の演奏を披露し、会場からは多くの拍手が送られました。その後はホストファミリーと日本の遊びを一緒にしたり、写真を撮ったり、たくさん話しをしたり、とても思い出に残る楽しい夜になりました。

夕食会

Keigo & Kazuyoshi



Noa



Hayato



Yui



Koshi



Nanaka



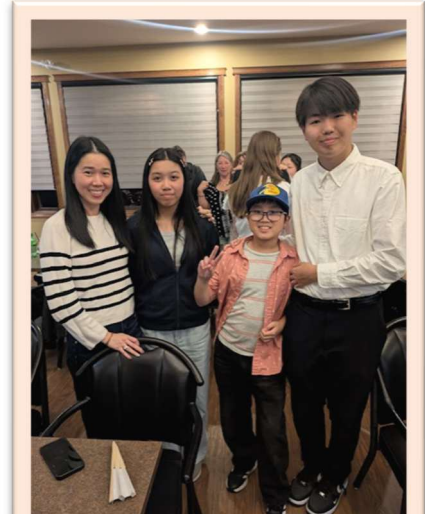
Himari



Mina



Keisuke



Mikiko



Koshi&Keisuke 日本の遊びを披露



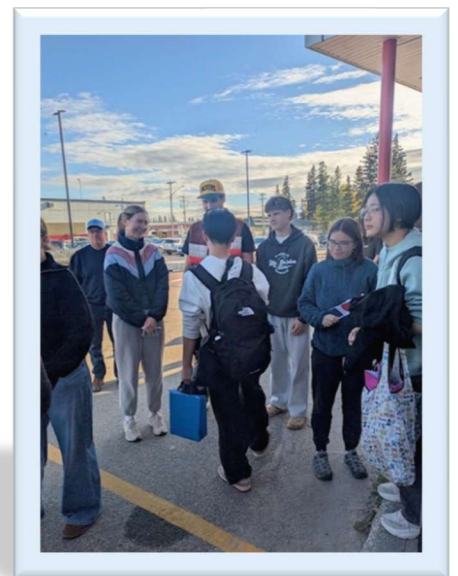
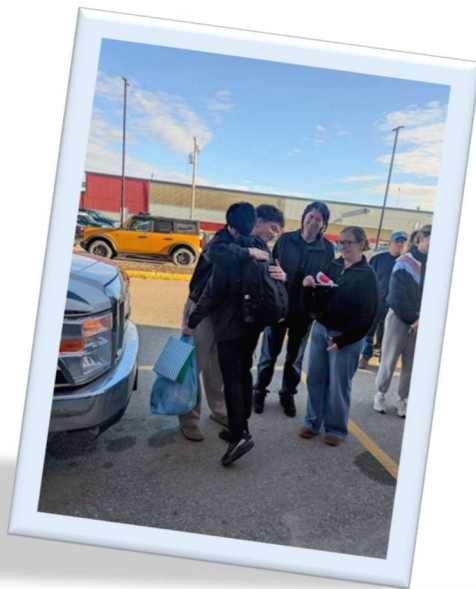
10月2日（金）

いよいよ今日はホワイトコート滞在最終日です。日中はそれぞれ学校に行き、最後に学校の授業や友だちとの時間を楽しんだことと思います。

昨日の夕食会は涙の時間が多かったので、今日の出発は大丈夫かな？と少し不安でしたが、やっぱり辛いお別れになりました。

出発に際して団長の細川副町長からお礼を述べた後、生徒を代表して岡崎くんがお別れのスピーチをしました。たくさんの思い出とお土産が詰まったスーツケースを持ってバスに向かう足取りは重く、なかなかバスに乗れません。ホストのお母さん方も、日本に帰したくないと言ってくれていました。また、将来ここに戻ってくると約束して、やっとバスは出発し、涙・涙のお別れになりました。

ホストファミリーと涙のお別れ



遠く離れていても交流を続けて、きっとまた会いましょう！